

県土整備プランの位置づけ 政策1:災害レジリエンスNo.1の実現
施策3:防災インフラの整備(中長期レジリエンス戦略)

2. 進捗状況(図面・写真等)

<凡例> 主な完了・施工中の工事内容

軟弱地盤対策	橋梁工	西側工	道路改良

青字：完了、赤字：施工中



①切り土法面工(安中市下秋間地内)



②鍛冶屋川橋下部工(安中市下秋間地内)



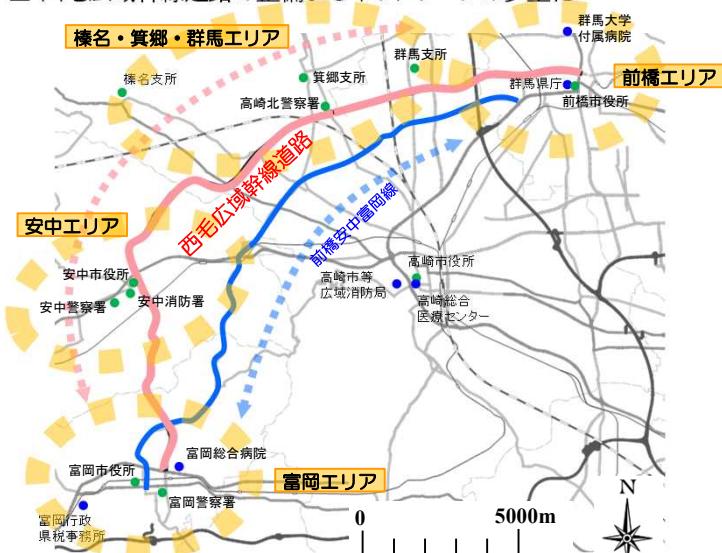
③河川付替え工(安中市下秋間地内)



3. 事業の目的・必要性に変化はあるのか？

- 西毛広域幹線道路は、「災害時にも機能する強靱な道路ネットワーク」を構成する路線として、広域的な救命救助や被災地への支援物資輸送、経済活動の継続性を確保するため、防災拠点や物流拠点が集積する防災・物流拠点集積エリア間を連携する強靱なネットワークを構築する道路であり、近年、水害等の気象災害が頻発化・激甚化するとともに令和6年能登半島地震を踏まえると、エリア間を結ぶルート多重化を図る道路整備の必要性はさらに高まっている。
- また、本工程に平行する県道下里見安中線の現道区間は、急勾配、幅員狭小、線形不良区間が多いことから、本工程を整備することで、高崎市と安中市を結ぶ新たな交通軸が形成され、地域間の安全かつ円滑な移動に大きな効果を発現できるため、本工程を整備する必要性に変化はない。

■ 西毛広域幹線道路の整備によるネットワークの多重化



■ 現道の幅員狭小箇所(高崎市下里見町)



■ 現道の急カーブ連続箇所(高崎市下里見町)



4. どのような事業効果が見込めるか？

【西毛広域幹線道路全体の効果】

①災害時における救命救助・支援物資輸送・経済活動の持続性を確保

新たなバイパスの整備により、防災拠点や物流拠点が集積する前橋エリアと高崎・安中エリア、甘楽富岡エリア間を結ぶルートの多重化が図られ、強靱なネットワークが構築される。

②地域間の連携強化と生活圏拡大による地域活性化

地域間の移動時間短縮により生活圏が拡大し、買い物や通勤・通学時の利便性が向上する。開通区間では商業施設の出店も進み、地域活性化に寄与する。また、高速ICへのアクセス向上により、首都圏や長野・新潟方面への移動が容易になる。[富岡市役所から県庁までの所要時間最大24分短縮]

③産業振興やまちづくりなど、地域の更なる発展に寄与

バイパス沿線では、高崎市で新たな工業団地や拡張が進み、物流効率化や雇用拡大など地域経済の発展に寄与する。

また、高崎市の堤ヶ岡飛行場跡地の開発や、安中市のJR信越本線への新駅設置と周辺開発など、バイパス沿道において、交通の利便性の高さを活かした新たなまちづくり構想が動き出しており、バイパス整備による地域の更なる発展に寄与する効果が顕在化してきている。

④周遊観光の促進

西毛広域幹線道路の周辺には、世界遺産富岡製糸場や磯部温泉、榛名山など県内の主要観光地が存在しており、移動時間が短縮することで周遊性が向上し、県内の観光振興に寄与する。

[富岡～安中間の移動：8分短縮、安中～箕郷間の移動：14分短縮]

■高崎市内における工業団地の拡張



■西毛広域幹線道路周辺の主要観光地



【西毛広域幹線道路 高崎安中工区の効果】

①地域間の移動円滑化と安全確保

バイパス整備により、平行する県道下里見安中線のすれ違いが困難な箇所や急カーブが連続する区間を迂回することができるため、災害時における道路閉そくや交通事故の危険性がなくなり、高崎～安中間を安全かつスムーズに移動できる。[県道下里見安中線におけるすれ違い困難箇所数：1箇所、急カーブ連続区間延長：400m]

またバイパスには車道と分離した歩道が整備されるため、歩行者の安全が確保される。

[県道下里見安中線における過去5年間の事故発生件数：20件]

②周辺道路の渋滞緩和

西毛広域幹線道路と平行する県道前橋安中富岡線（現道）では、国道18号岩井交差点（安中市）周辺などで朝夕を中心に渋滞（混雑度1.33※）が発生しているが、バイパス整備による交通の分散により、渋滞が緩和され、円滑な交通が確保される。

[※平成27年度 一般交通量調査報告書より]

費用便益分析（個別評価）

	事業全体		残事業	備考
	前回評価時	今回再評価時	今回再評価時	
費用合計（C）	18,134,000千円	32,297,000千円	16,983,000千円	・工事費 ・維持管理費
便益合計（B）	23,815,000千円	19,886,000千円	19,886,000千円	・走行時間の短縮 ・走行経費の減少
費用対効果分析(B/C)	1.31	0.62	1.17	

費用便益分析（一体評価）

	事業全体		残事業	備考
	前回評価時	今回再評価時	今回再評価時	
費用合計（C）	—	121,930,000千円	28,084,000千円	・工事費 ・維持管理費
便益合計（B）	—	124,799,000千円	78,410,000千円	・走行時間の短縮 ・走行経費の減少
費用対効果分析(B/C)	—	1.02	2.79	

5. 事業手法やコストは妥当か？

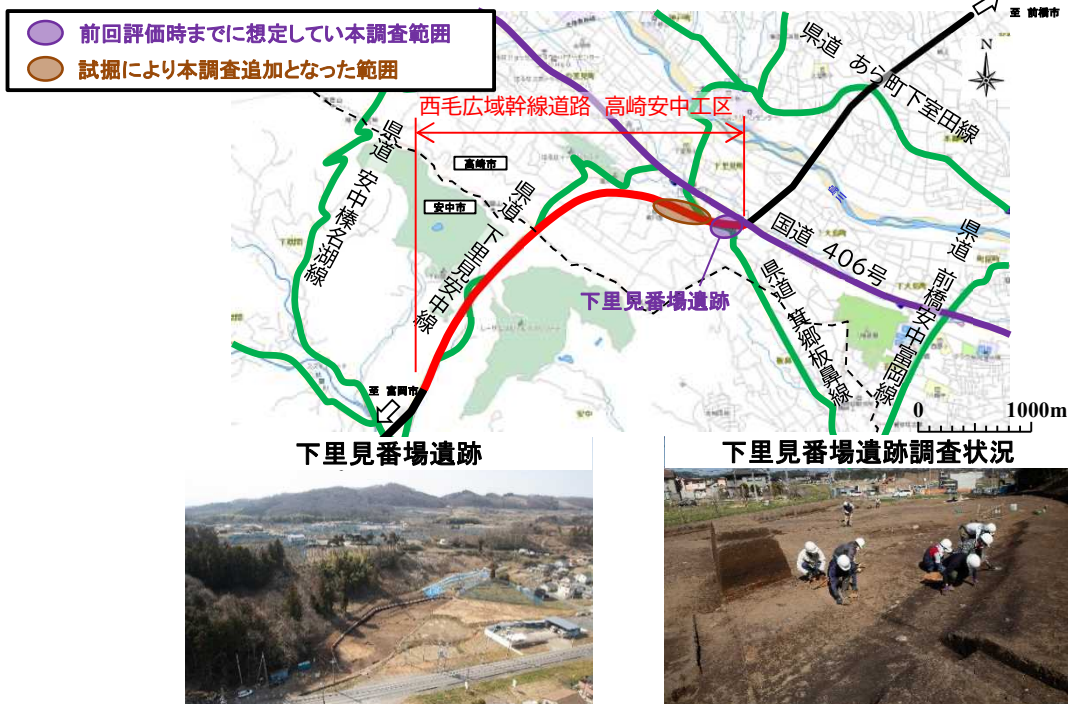
【前回評価時の計画(事業費)を変更する理由】

1. 資材・労務単価の高騰及び諸経費の増加(+33.0億円)

- ・鋼材単価が令和2年から令和6年で1.8倍、また普通作業員単価が1.2倍になるなど、近年の資材・労務単価の高騰の影響を強く受け、工事費が増額となる。

2. 埋蔵文化財調査費の増加(+3.0億円)

- ・用地買収が完了した箇所の試掘を行ったところ、平安時代から近世の遺構が新たに確認され、発掘調査が追加となったため、調査費が増額となる。



【今回の変更計画の妥当性】

- ・今回の事業費の変更は資材・労務単価の高騰及び諸経費の増加と埋蔵文化財調査費の増加によるものであるため計画に変更はなく、事業費の増額はやむを得ないものであり、妥当である。

【事業費の縮減に向けた取り組み】

- ・本工区では、トンネル工事や切土工事により、多くの建設発生土が見込まれるが、西毛広域幹線道路全体で土量管理・工程調整の実施や、他事業への流用を検討し残土処分にかかる費用を抑え、事業費の縮減を図っている。

6. 事業実施にあたり、配慮した事項はあるか？

- ・本工区の一部区間(安中市内)は景観誘導地域に指定されていることから、工区全体で道路からの眺望を確保するため、周辺の山々と馴染むように案内標識柱や防護策にグレーベージュを使用する計画としている。

■防護柵の施工事例



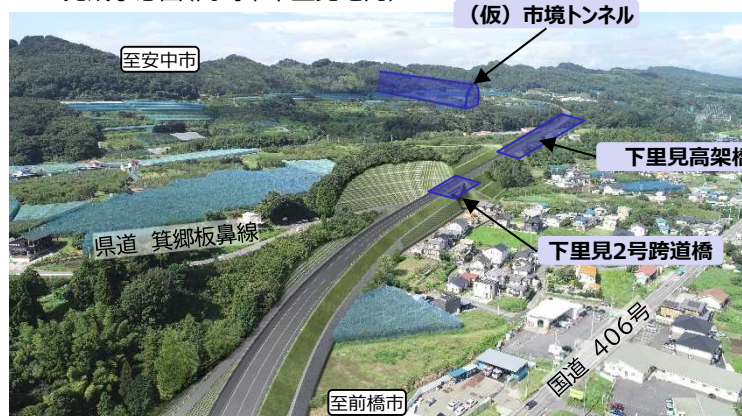
■道路案内標識の施工事例



7. 事業が長期間要している理由と今後の見通しは？

- ・事業延長L=3.8kmと事業規模が大きく、地元調整、用地取得、埋蔵文化財調査及び橋梁、トンネル等の大型構造物の施工により、事業完了までに長期間を要する計画となっている。
- ・昨年度末までに8割を超える用地取得が完了しており、順次、埋蔵文化財発掘調査を進めているが、試掘によって新たな遺構が確認され、発掘調査が追加となっている。
- ・現在は、用地取得や文化財発掘調査が完了した箇所から、順次改良工事や橋梁工事を進めており、事業完了は現計画と同様に令和11年度となる見込みである。

■完成予想図(高崎市下里見地内)



■埋蔵文化財調査の様子(高崎市下里見地内)



8. 事業の対応方針は？

事業継続

事業中止

変更なし ・ 事業計画の変更 ・ スケジュールの変更

- ・本事業は、道路ネットワークの多重化による災害時にも機能する強靱な道路ネットワークの構築とともに、地域の産業や観光振興に寄与するほか、地域間連携の強化、生活圏拡大による県民生活の利便性の向上が期待されており、本工区を含め早期の全線開通が求められている。
- ・本工区に平行する県道下里見安中線の現道は、すれ違い困難な幅員狭小区間や、急カーブが連続する線形不良区間があり、災害時の道路閉そくや、見通しの悪い縦断勾配の影響で交通事故の発生が危惧されている。当該工区が整備されることで、高崎市と安中市を結ぶ新たな交通軸が形成され、地域間の安全かつ円滑な通行が確保されるとともに、車道と分離した歩道を整備することにより、歩行者の安全が確保されることから、本工区を整備する必要性は高い。
- ・一方で、資材価格や労務単価の高騰や埋蔵文化財調査費用の増加等によって事業費が増額するが、西毛広域幹線道路全体で建設発生土を一体的に管理・調整することで、残土処分にかかる費用を抑え、事業費の縮減を図りながら、令和11年度の完成に向け、事業を進捗させている。
- ・以上のことから、本事業の必要性、重要性は高く、早期に効果発現を図ることが適切であるため、事業継続が妥当である。

9. 市町村意見

市町村	再評価における意見
前橋市	全線開通することで地域の利便性が向上し、西毛地域との交流・連携が促進されるため、西毛広域幹線道路の一日も早い全線開通に向けて、特段の配慮をお願いしたい。
高崎市	本工区は、橋梁やトンネル等の大型構造物が計画される事業規模の大きな工区ではあるが、急こう配、幅員狭小箇所が存在する現道に代わる高崎・安中間の新たな交通軸であり、引続き早期の完成をお願いしたい。
安中市	本路線は、前橋市、高崎市、安中市、富岡市を結び、周辺地域の渋滞緩和や物流の効率化、観光振興に寄与すると共に、災害時にも機能する強靱な道路ネットワークに位置づけられている重要な路線であるため、本工区のほか全線の早期整備をお願いしたい。
富岡市	当該工区を含む西毛広域幹線道路は、県央地域と西毛地域をつなぐ重要な路線であり、周辺道路の渋滞緩和や発災時の道路ネットワーク確保、周辺地域の観光振興を図る上で必要な道路であるので、早期の整備をお願いしたい。